

## 平成29年度第1回羽幌町社会教育委員会議

### 並びに羽幌町公民館運営審議会議事録

- 1 日 時 平成29年4月26日（水曜日）  
午後6時30分から午後8時00分
- 2 場 所 羽幌町中央公民館3階：会議室
- 3 出席者 委員長：大長 司 副委員長：小國美恵子  
委 員：永沼慧久男 富田正夫 宮下裕加 本間範子 松森克彦  
岩澤光子 立花充人 西村教子 工藤俊也 山田 守  
事務局：山口教育長  
渡辺課長 高橋係長 春日井係長 近藤主査
- 4 委嘱状の交付（4月1日異動分）  
教育長から新委員（4名）へ委嘱状を交付
- 5 挨拶  
羽幌町教育委員会 山口教育長より挨拶  
羽幌町社会教育委員 大長委員長より挨拶
- 6 議事  
大長委員長により進行

#### （1）報告事項

##### ①平成28年度社会教育施設等利用状況について

- ・議案資料により説明。

- ・スポーツ公園や南町運動広場、町民スキー場などの屋外施設の利用人数が減少しているが、天候不良によるものが、大きな要因と考えている。
- ・羽幌町の保健福祉事業により、総合体育館の高齢者利用が増加した。

##### ②平成29年度社会教育事業計画書について

- ・別冊資料のとおり説明。

### 【質疑・意見等】

委員：町民芸術祭は、見に来る人が少なくなっていると思う、展示物も少なくなっている。もうひと工夫必要ではという印象。蕎麦など食べるものがあると人も増えるのではないか。

事務局：入場者のカウントはしていないが、少なくなっている状況である。

蕎麦や菊の展示は、サークルの問題だったり、保健所の問題などがある。

実行委員会形式でやっているの、今年は、何か趣向を変えるなど、これから実行委員会でその辺を話し合うので、何か出来るもの方法等を考え検討したい。

委員：今年、子ども自然教室で6月にめん羊の毛洗い体験を行い、10月に羊毛クラフト作りを実施する。

町民芸術祭で小ホールを会場に、これまで子どもたちが体験した羊毛クラフト作りを一般町民に指導するという形で実施したい。

今までと違うかたちで実施する。皆さんからご意見をいただき、活性化できるようにしたいと考えている。

意見：町民芸術祭は、一般公募の作品展示が多くなると、良くなるのでは。

意見：高校の美術部部員が10名増えた、展示数を増やしてもらえればと考えている。

委員：新規事業は何かあるのか。毎年同じような事業だと、飽きてしまうのではないか。町民芸術祭も子どもを連れていくような感じではない。

子どもが行かないと、年寄りや親も行かない。

事務局：継続事業が多いが、新規事業もある。今後も子どもの参加を考えて、事業の工夫、改善をしていきたい。

今年度の新規事業として、「はじめての古文書教室」を開催する。

委員：昨年度は、おろろんウィンターフェスティバルをリニューアルした形で実施している。また、学校ブックフェスティバルも昨年の新規事業である。

#### ③大会・研修会等について

・議案資料により説明

#### ④社会教育事業参観記録について

・各委員において、活用し、感想、意見等を参観記録という形で報告いただくよう依頼。

### (2) 報告事項

#### ①公民館図書室の休館日について

・議案資料により説明。

#### ②羽幌町立公民館条例施行規則の一部を改正する規則について

・議案資料により説明。

**【質疑・意見等】**

委員：公立図書館等で民間に委託しているところはあるのか。

事務局：管内では、留萌市が指定管理者に委託している。

委員：休館日の設定で、「月曜を除く祝日の翌日」が、分かりづらい。理解が難しい。

事務局：分かり易いようにカレンダーにするなどして、広報等でお知らせする。

事務局：将来的に建替え等で、図書館になると別に入口を設けるので、公民館休館日の第4日曜日は休まなくてもよくなる。